

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 5 号

第 5 週(1月 31日 ~ 2月 6日)

発行年月日:平成17年(2005年) 2月 14日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (5週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (5週)	全国 (5週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	1	49	9	576
	腸チフス	0	0	5	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	52	21	3,640
4類感染症	E型肝炎 <sup>(*)2</sup>	0	0	2	1	34
	オウム病	0	0	5	1	39
	デング熱	0	0	3	2	45
	マラリア	0	0	6	2	73
5類感染症	アメーバ赤痢	0	0	59	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	25	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	8	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	0	89	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	3	2	85
	梅毒	0	0	42	4	516
	破傷風	0	0	4	2	100
急性脳炎 <sup>(*)2</sup>	0	0	5	1	161	

\*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:平成17年第3週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

### 2)定点把握の対象となる5類感染症

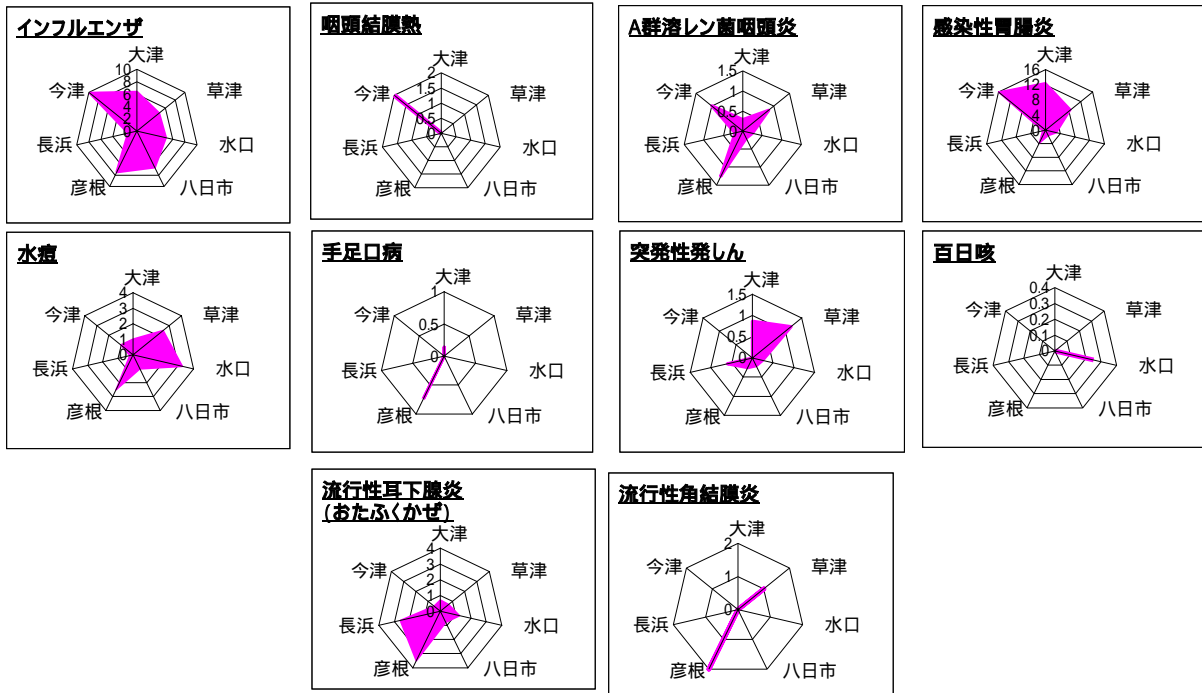
(1)疾病別・週別発生状況(平成16年第53~平成17年5週、H16.12.27~H17.2.6)

疾患名	定点当たり患者数 ( 前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	前週より増加						前週と同じ				前週より減少	
	53週 (12/27~)	1週 (1/3~)	2週 (1/10~)	3週 (1/17~)	4週 (1/24~)	5週 (1/31~)	1	2	3	4	5	
インフルエンザ	0.06	0.18	0.25	0.76	2.27	5.61						
RSウイルス感染症	0.09	0	0.03	0	0	0						
咽頭結膜熱	0	0.06	0	0.03	0.15	0.12						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.18	0.27	0.33	0.48	0.45	0.52						
感染性胃腸炎	3.70	4.76	6.24	6.21	6.12	6.39						
水痘	2.39	2.52	2.00	1.79	2.39	1.61						
手足口病	0.48	0.48	0.21	0.27	0.45	0.12						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0.03	0.03	0.03	0						
突発性発しん	0.27	0.36	0.45	0.58	0.45	0.58						
百日咳	0	0	0	0	0.03	0.03						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0	0.06	0	0	0	0						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.61	1.64	1.24	0.85	1.39	1.39						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0.14	0						
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.14	0	0.14	0.43						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.29	0.14	0	0.43	0.14	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0.43	0.29	0.43	0	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第5週、1/31~2/6)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	5.61	6.27	4.50	4.71	6.50	7.29	1.40	9.67
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.12	0	0	0	0	0	0	2.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52	0.29	0.83	0.25	0.20	1.25	0.20	1.00
感染性胃腸炎	6.39	12.57	8.67	3.00	1.60	3.75	0.80	16.00
水痘	1.61	1.00	2.50	3.25	1.00	2.50	0.20	1.00
手足口病	0.12	0.14	0	0	0	0.75	0	0
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	0.58	0.86	1.17	0.25	0.20	0.25	0.60	0
百日咳	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.39	0.71	0.67	1.25	0.80	3.50	2.60	0.50
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.43	0	1.00	0	0	2.00	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。インフルエンザの県内における発生は長浜でやや少なくなっていますが、すべての保健所管内で先週より増加しています。咽頭結膜熱については先週に引き続き今津でやや多く発生しています。感染性胃腸炎は大津および今津で急増しています。水痘については草津および水口でやや多くなっています。

また、百日咳は先週に引き続き水口から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

\* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

### 3) 今週のトピックス

#### インフルエンザの発生は流行シーズン入り インフルエンザの発生は増加傾向持続

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(1月24日～1月31日)の報告数よりさらに増加し、特にインフルエンザで急増しています。流行性耳下腺炎は横ばいですが多い状態で推移しています。また、百日咳については先週に引き続き報告されています。流行性角膜炎についてもやや多く報告されています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

**インフルエンザ**については、先週の定点当たり患者数2.27より倍増し5.61となっています。各保健所管内の定点当たり患者数は先週より大幅に増加しています。特に今津保健所管内の定点当たり患者数は9.67と多くなっています。今後も引き続き感染予防に対する注意が必要です。

**感染性胃腸炎**については、先週の定点当たり患者数6.12よりやや増加し6.39となっています。草津保健所管内においては先週よりかなり減少し定点当たり患者数は8.67となっていますが、大津および今津保健所管内では急増しています。定点当たり患者数はそれぞれ、12.57、16.00と多くなっています。

**流行性耳下腺炎**(おたふくかぜ)については、先週の定点当たり患者数1.39と同じです。彦根保健所管内における定点当たり患者数は先週の6.00から3.50に減少しましたが、他の保健所管内では微増となっています。

#### インフルエンザの流行状況について(厚生労働省健康局結核感染症課、平成17年2月4日発表)

##### インフルエンザの流行状況について (今年もインフルエンザ流行シーズン入り)

平成17年第3週(1月17日～1月23日)の感染症発生動向調査では、インフルエンザの定点あたり報告数が2,81(報告数13,198人)と流行の目安としている1.0を上回りましたので、**今年もいよいよインフルエンザ流行シーズンに入った**と考えられます。

流行シーズンに入った時期としては例年より遅く(ここ10年で平成12～13年のシーズンについて二番目に遅い)、昨シーズンと比べると3週ほど遅くなっています。

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫と共に放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染します。インフルエンザが流行してきたら、人混みは避けましょう。空気が乾燥すると、咽頭粘膜の防御機能が低下して、インフルエンザにかかりやすくなります。外出時にはマスクを利用したり、室内では加湿器などを使って適度な湿度を保ちましょう。常日ごろからバランスよく栄養をとることも大切です。帰宅時のうがい、手洗いは、かぜの予防と併せておすすめします。

また65歳以上の高齢者の方で、まだ予防接種を受けられていない方は、ワクチン接種をお勧めします。

なお、詳細については、インフルエンザホームページをご覧ください。

**インフルエンザホームページ** <http://www.mhlw.go.jp/houdou/0111/h1112-1.html>

##### 参考: 今シーズンの現段階でのインフルエンザウイルス分離状況(全国)

A H3型(A香港型)のみならずA H1型(Aソ連型)、B型のインフルエンザウイルスの分離報告数も多くなっています。

1. これまでの分離状況: A H1型68件、A H3型100件、B型115件
2. 昨シーズンの分離状況: A H1型5件、A H3型4、740件  
B型290件、他28件

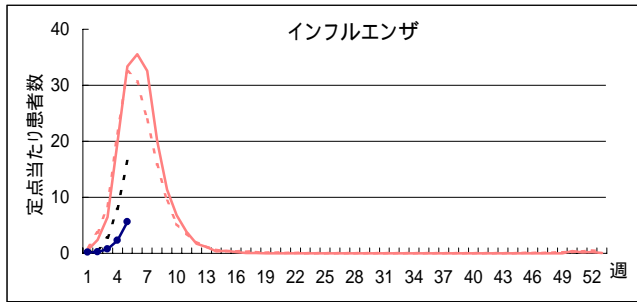
### 4) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成17年1月)

性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を昨年の同時期と比較すると、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、MRSA感染症およびPRSP感染症の定点当たり患者数は増加していますが、性器ヘルペスウイルス感染症および淋菌感染症は減少しています。薬剤耐性緑膿菌感染症については報告されていません(性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。

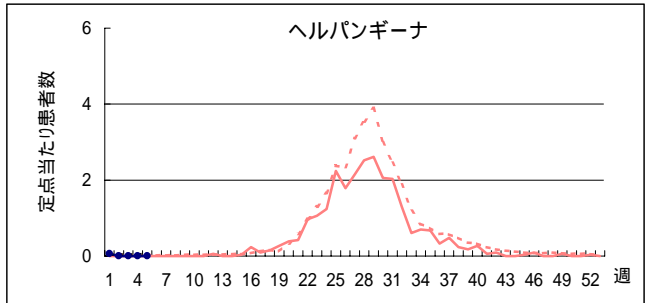
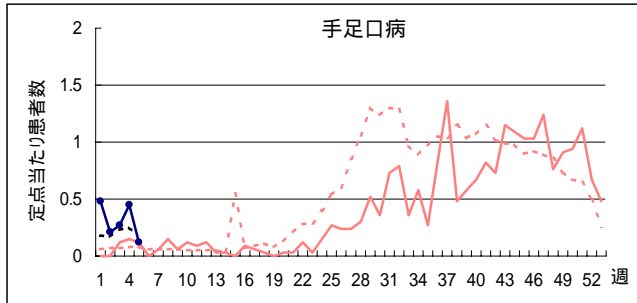
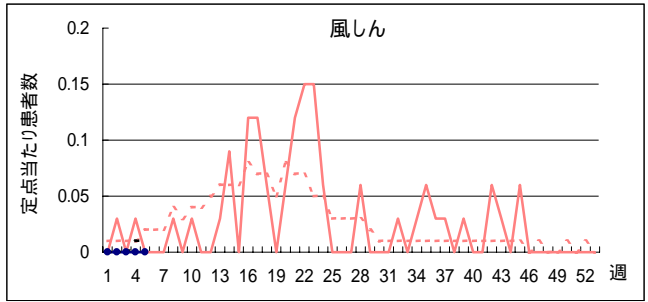
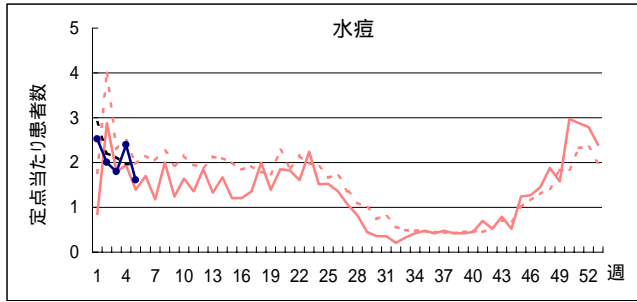
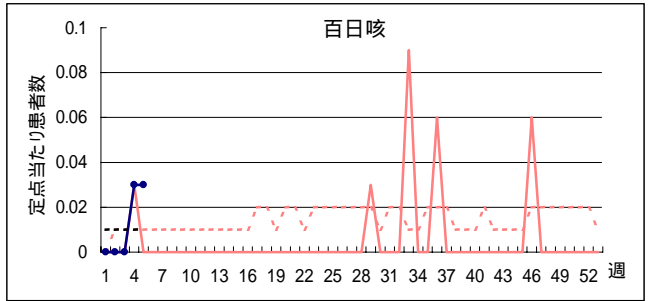
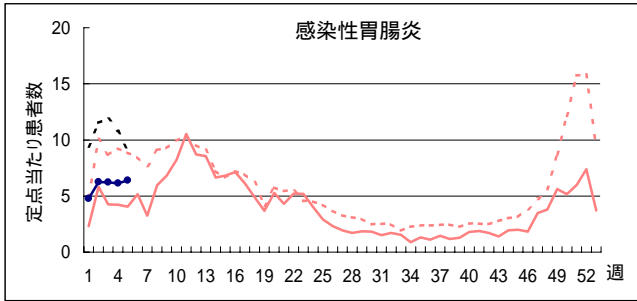
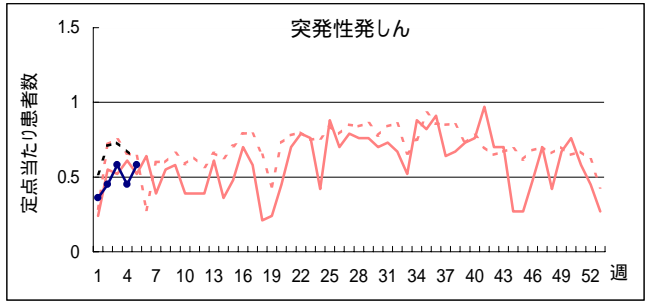
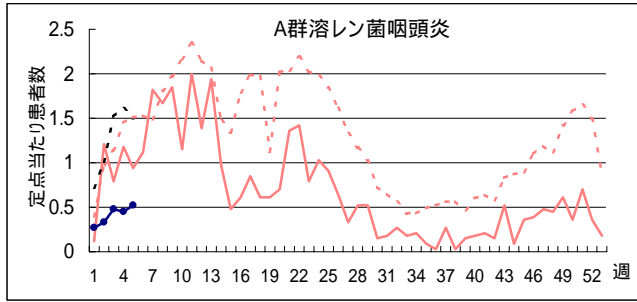
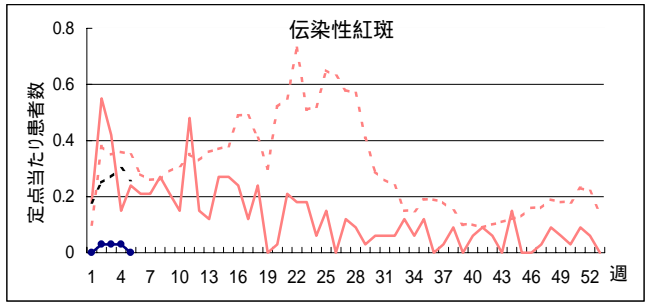
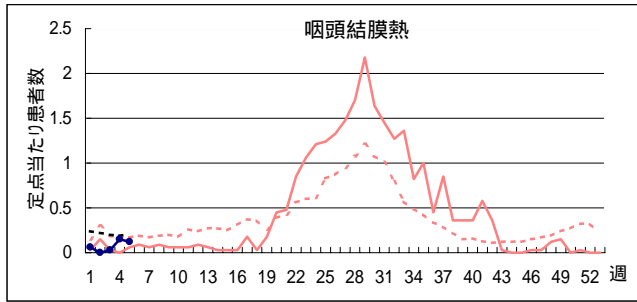
また、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマおよび淋菌感染症については15～19歳においても報告されています。

\*MRSA感染症:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 PRSP感染症:ペニシリン耐性肺炎球菌

# 疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第5週、H17.1.3～H17.2.6)

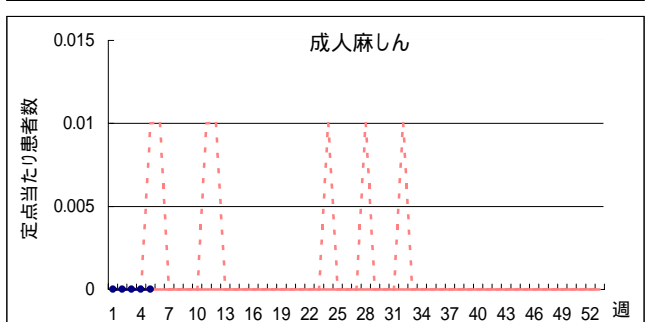
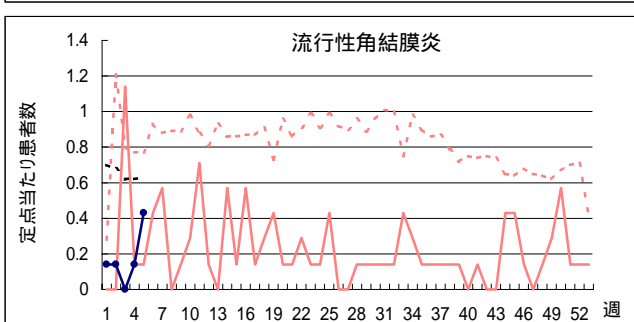
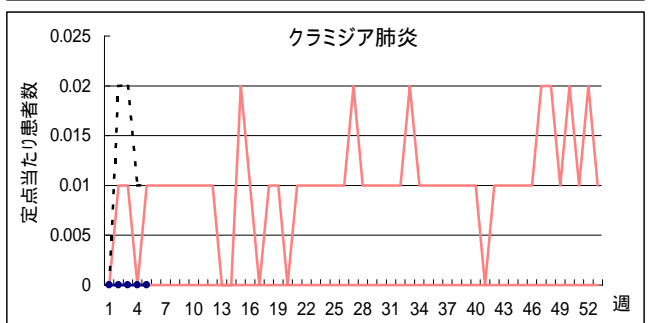
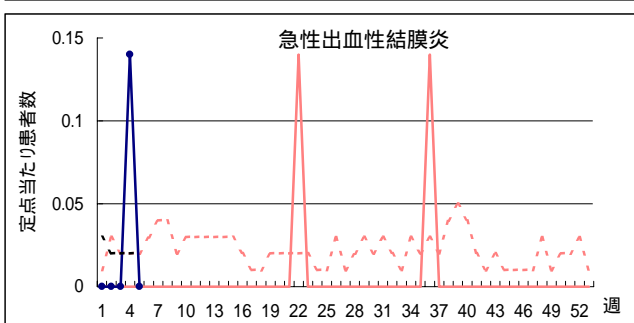
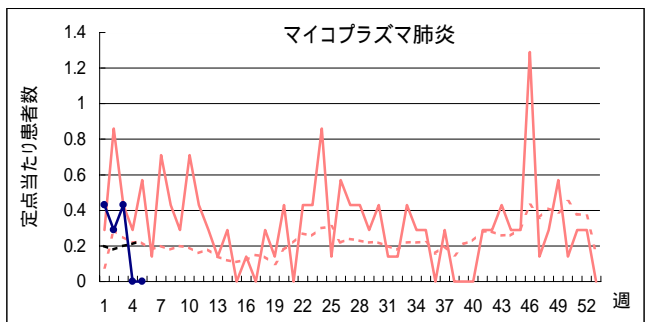
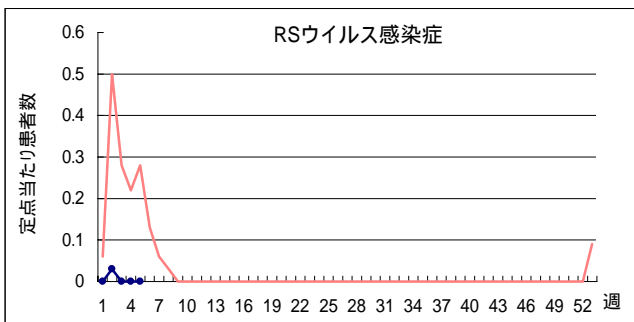
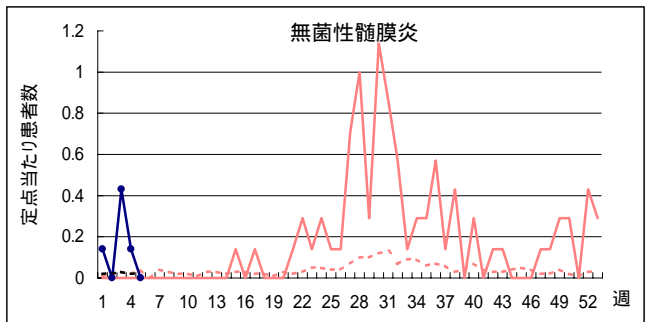
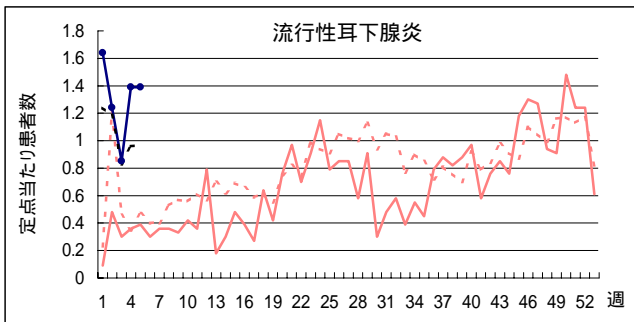
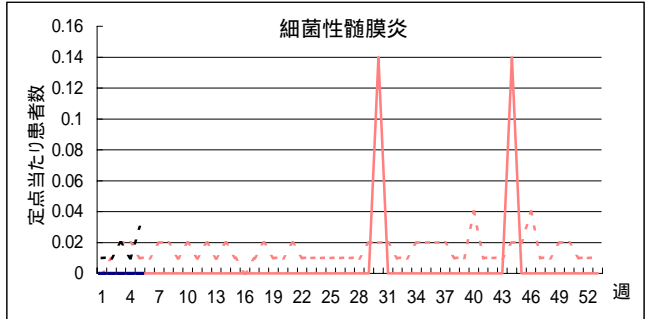
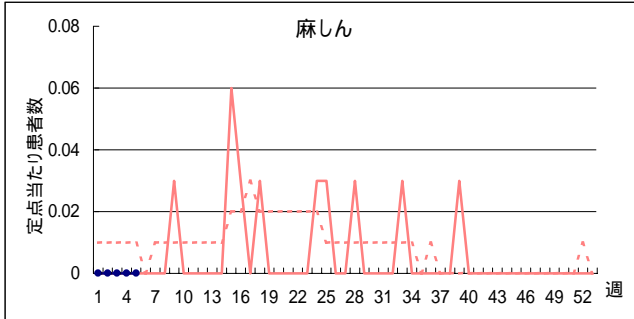


H16 { 滋賀 (solid red line)  
       全国 (dotted red line)  
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
       全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第5週、H17.1.3～H17.2.6)

H16 { 滋賀 ———— 全国 ..... }      H17 { 滋賀 ●——● 全国 ..... }

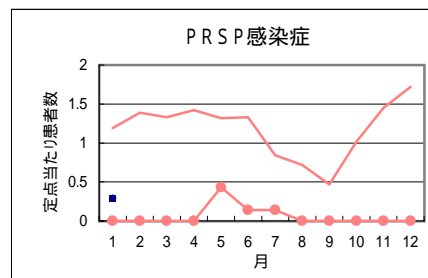
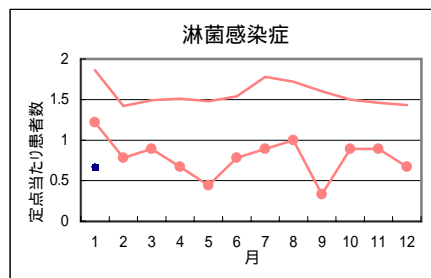
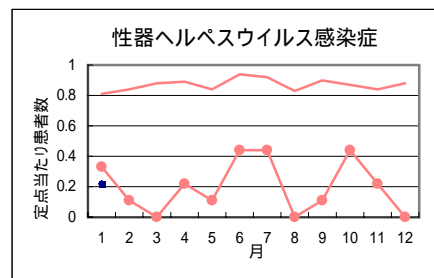
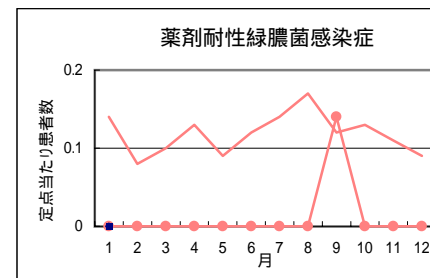
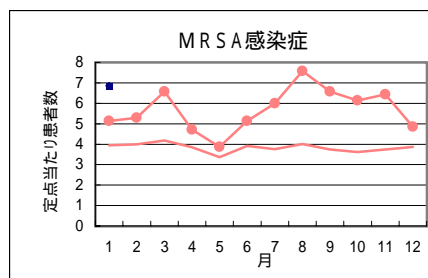
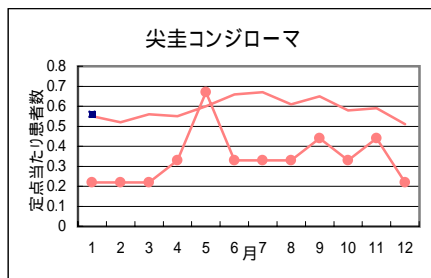
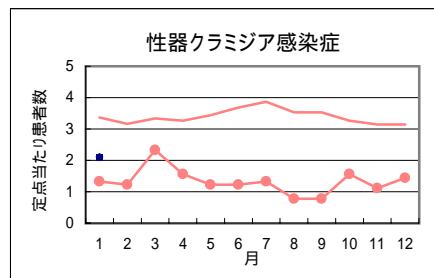


# 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

1月報 (集計期間:平成17年1月)

戻る

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	19												19
	定点当たり	2.11												2.11
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	2												2
	定点当たり	0.22												0.22
尖圭コンジローマ	罹患数	5												5
	定点当たり	0.56												0.56
淋菌感染症	罹患数	6												6
	定点当たり	0.67												0.67
MRSA感染症	罹患数	48												48
	定点当たり	6.86												6.86
PRSP感染症	罹患数	2												2
	定点当たり	0.29												0.29
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0												0
	定点当たり	0												0



\*平成17年1月(滋賀)のデータは、●として表示されています。

- H16 { 滋賀 ●●●●●●
- { 全国 —————
- H17 { 滋賀 —————
- { 全国 ..... (dotted)

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌

PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌